

事務事業名		綾里地区生産物直売所管理運営事業				☐ 実施計画登載事業		☐ 総合戦略登載事業						
政策体系	政策名	011 豊かな市民生活を実現する産業の振興				事業期間		予算科目						
	施策名	012 地域特性を生かした農林業の振興						会計	款	項	目	事業		
	基本事業名	012 農家経営の安定支援						01	06	01	02	17		
根拠法令						☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 S62 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分						
所属	部課名	農林水産部農林課						A 政策事業 B 施設整備 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)						
	課長名	菅原 博幸												
	係名	農政係	電話	27-3111										
	担当者	鈴木 真央	内線	7122										
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・三陸鉄道南リアス線綾里駅の駅舎機能を有している綾里地区生産物直売所の管理を委託する事業。 ・指定管理者制度により平成21年度から大船渡市観光物産協会に委託している。 ・委託する業務は、地域特産物の販売促進、観光客の取次ぎ、施設の開閉、清掃、利用促進、施設設備の維持管理等である。 ・事業費は、指定管理者への委託料及び補助金と、電気料、修繕料、火災保険料として支出される。										全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
						総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金						
								都道府県支出金						
								地方債						
								その他						
								一般財源						
							事業費計(A)	0						
							正規職員従事人数							
							延べ業務時間							
							人件費計(B)	0						
							トータルコスト(A)+(B)	0						

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

指定管理料及び補助金の支払業務、敷地賃貸料の契約・支払業務、施設の不具合に対する対応

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

昨年度と同様

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

綾里地区生産物直売所
直売所利用者

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

- ・直売所を安全で快適に利用できるようにする。
- ・直売所の利用者に商品をたくさん買ってもらう。

④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)

安定して農業を営む。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 直売所の営業日数	日
イ 修繕件数	件
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 直売所施設面積	m ²
キ	
ク	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 施設不具合件数	件
シ 施設不具合への対応率	%
ス 直売所の売り上げ実績	円

(2) 総事業費・指標等の推移

			年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(目標)
			単位						
投入量	事業費	財源内訳	千 円						
		国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円						
		その他	千 円						
	人件費	一般財源	千 円	1,510	1,830	1,529	1,737	1,901	1,800
		事業費計 (A)	千 円	1,510	1,830	1,529	1,737	1,901	1,800
		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時 間	20	30	20	20	20	20
		人件費計 (B)	千 円	80	120	80	80	80	80
トータルコスト(A)+(B)			千 円	1,590	1,950	1,609	1,817	1,981	1,880
⑤活動指標	ア	日	235	235	235	235	235	235	
	イ	件	0	2	0	0	4	0	
	ウ								
⑥対象指標	カ	m ²	261.47	261.47	261.47	261.47	261.47	261.47	
	キ								
	ク								
⑦成果指標	サ	件	0	2	0	0	4	0	
	シ	%	100	100	100	100	100	100	
	ス	円	682,748	633,706	799,872	643,529	570,281	500,000	

事務事業ID	1225	事務事業名	綾里地区生産物直売所管理運営事業
--------	------	-------	------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

昭和62年度に、三陸鉄道の利用増進と、地域で生産された農畜産物の直売を行うために、三陸鉄道南リアス線綾里駅に併設して施設を設置した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

- ・三陸鉄道の利用客が減少したことにより、施設利用者の減少及び地元特産物の売上が減少しており、指定管理者の決算が赤字になる年度もある。
- ・平成18年度から綾里地区直売所運営協会に指定管理してきたが、平成21年度から事業休止することとなり、新たな指定管理者に大船渡市観光物産協会を依頼している。
- ・雨漏り等による施設の損傷が目立つようになってきている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

経年劣化による施設の維持補修(トイレ廻りや雨漏り)を要望される。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	地域で生産された農林水産物を販売しており、農林漁家の経営安定に寄与している。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	産業振興及び観光振興のための施設であり、市で行うことに問題はない。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	指定管理者制度に基づいて委託する事業であり、対象、意図とも適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	三陸鉄道綾里駅の利用者により成果が左右されるところが大きいことから、三陸鉄道利用促進とあわせて売上成果の向上が期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	国庫補助事業で導入した施設であり、廃止・休止はできない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	指定管理料の内訳が需用費(消耗品、燃料費、光熱水費)であり削減することはできない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	必要最小限の業務となっており、削減することはできない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	指定管理者制度に基づいて委託しており適切である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果																			
① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等		<table><tr><th></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td>●</td><td>×</td></tr><tr><th>低下</th><td>×</td><td>×</td></tr></table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
	低下	×	×																		
観光事業との連携を含めた三陸鉄道の利用促進を図る必要がある。 施設の損傷が目立つようになってきていることから、今後、大規模修繕もしくは施設の更新について関係機関と検討していく必要がある。																					

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	当面は現状どおり継続して事業を実施するが、施設の老朽化や耐震性の問題もあり将来検討が必要。